

授業科目	事例研究(グローバルコミュニケーション) Case Study (Global Communication)			担当教員	田中 誠		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年/後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
この講義では、様々な事例研究を通して、グローバル時代において、円滑にコミュニケーションをするための専門的知識と技能を修得することを目標とする。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	常に学び、成長しようとする姿勢で、意欲的に授業に取り組むことができる。			・授業態度・参加度	20%		
思考・判断	グローバル時代のコミュニケーションにおいて、事例ごとに適切な戦略を選択することができる。			・課題レポート	20%		
技能・表現	各事例を正確に理解し、それを適切にまとめて発表することができる。			・授業中の発表	30%		
知識・理解	円滑にコミュニケーションをするための戦略について、各事例に応じて説明することができる。			・課題レポート	30%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、授業態度・参加度 20%、授業中の発表 30%、課題レポート 50% で評価する。授業態度・参加度については、教師からの発問に対する応答の内容及び学生同士の討論内容を評価する。授業中の発表については、各自の担当箇所の発表内容を評価する。課題レポートについては、学期末のグローバルコミュニケーションに関するレポート内容を評価し、個別にメールでフィードバックを行う。							
授業の概要							
この講義では、より良いグローバルコミュニケーションに活かすことのできる基本的な戦略を学ぶために、英語で書かれた事例を丁寧に読み込んでいく。テキストとして取り扱う内容を十分に理解するだけでなく、幅広い文献・資料にも意欲的にあたることで、各事例におけるグローバル時代のコミュニケーションについての考察を深めていく。							
教科書・参考書							
教科書：授業中に、ハンドアウトを配布。 参考書：Brown, Penelope and Levinson, Stephen C. (1987) <i>Politeness: Some Universals in Language Usage</i> . Cambridge University Press. Molinsky, Andy (2013) <i>Global Dexterity</i> . Harvard Business Review Press.							
授業外における学修及び学生に期待すること							
必ずしっかり予習をして授業に参加してもらいたい。自ら学ぼうという姿勢が重要である。関連文献等を進んで読み進めてほしい。また、辞書を必ず授業には持つてくること。(電子辞書可)							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション、グローバル人材とは	授業がスムーズに進むように、本講義の意義を理解する。グローバル人材についての解説。ポライトネス・ストラテジーについて、理論の概略解説。	シラバスを読んでくる。グローバル人材について調べる。プリント①の復習
2	フェイスについて	「フェイス」(face)の基本イメージを理解し、その理論とその適応事例を学ぶ。	「フェイス」について調べる。プリント②についての復習
3	FTA (face-threatening acts)	ポジティブ・フェイスとネガティブ・フェイスを脅かす行為の違いについて考察し、その適応事例を学ぶ。	FTAについて調べる。プリント③の復習
4	FTA を行うためのストラテジー	様々なストラテジーの選択に影響を及ぼす要因と、その適応事例を学ぶ。	FTA を行うためのストラテジーを調べる。プリント④の復習
5	ポライトネス・ストラテジー	オン・レコードであからさまに言うストラテジーについて考察し、その適応事例を学ぶ。	ポライトネス・ストラテジーについて調べる。プリント⑤の復習
6	ポジティブ・ポライトネス (1)	ポジティブ・ポライトネスのストラテジー1～3について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー1～3について調べる。プリント⑥の復習
7	ポジティブ・ポライトネス (2)	ポジティブ・ポライトネスのストラテジー4～6について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー4～6について調べる。プリント⑦の復習
8	ポジティブ・ポライトネス (3)	ポジティブ・ポライトネスのストラテジー7～10について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー7～10について調べる。プリント⑧の復習
9	ネガティブ・ポライトネス (1)	ネガティブ・ポライトネスのストラテジー1～3について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー1～3について調べる。プリント⑨の復習
10	ネガティブ・ポライトネス (2)	ネガティブ・ポライトネスのストラテジー4～6について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー4～6について調べる。プリント⑩の復習
11	ネガティブ・ポライトネス (3)	ネガティブ・ポライトネスのストラテジー7～9について考察し、その適応事例を学ぶ。	ストラテジー7～9について調べる。プリント⑪の復習
12	オフ・レコード (1)	オフ・レコードのストラテジー1～5について考察し、その適応事例を学ぶ。	オフ・レコードのストラテジー1～5について調べる。プリント⑫の復習
13	オフ・レコード (2)	オフ・レコードのストラテジー6～10について考察し、その適応事例を学ぶ。	オフ・レコードのストラテジー6～10について調べる。プリント⑬の復習
14	オフ・レコード (3)	オフ・レコードのストラテジー11～15について考察し、その適応事例を学ぶ。	オフ・レコードのストラテジー11～15について調べる。プリント⑭の復習
15	発表、まとめ	課題レポートの発表、これまでの授業のまとめ。	課題レポート発表の準備、全体の復習

